

5 - 1 東海地方の微小地震の分布(1983年11月1日～1984年4月30日)

Distribution of Microearthquakes in Tokai District

(November 1, 1983 - April 30, 1984)

名古屋大学 理学部

School of Science, Nagoya University

前報¹⁾に引き続いて1983年11月1日より1984年4月30日までの6ヶ月間における東海地方の微小地震活動について報告する。

第1図に1983年11月1日より1984年4月30日までの6ヶ月間に名古屋大学理学部の地震テレメータ観測網によって観測された20 km以浅に発生している地震の震央を3ヶ月づつの期間に分けて示す。第2図は同じ期間に20 kmから80 kmの間の深さで発生した地震の震央を示したものである。

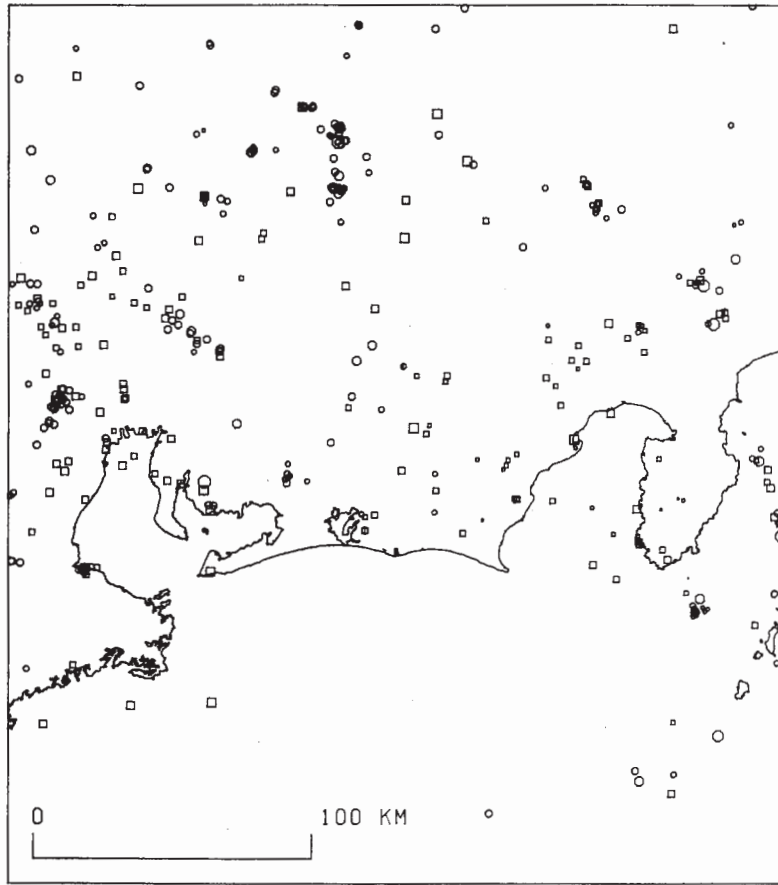
以下にその特徴について述べる。

- (1) 11月24日に浜名湖の東、深さ32 kmでM 5.2の地震があり、余震が観測された。この付近は幾つかの地震の巣があるが、この地震と余震は空白域を埋める様に起こっている。この地震の発生後この付近のプレート内地震はやや活動的になった。
- (2) 王滝村付近に発生する地震はその活動度が次第に低くなっていたが、1984年4月9日に4時間内にM 4.0を含む8個の地震の発生する活動があった。
- (3) 静岡市付近の微小地震活動は1983年11月から1984年1月にかけてやや不活発であったがその後の3ヶ月は比較的活発になってきている。
- (4) 1984年4月4日の07時58分から08時05分にかけて富士山直下でM1.0クラスの地震が約20個観測された。これらの地震は前報¹⁾の地震と同様高周波成分の極めて少ない特徴をもっている。

前報²⁾で1983年10月の三ヶ根-蔵王基線の辺長測量の結果1 μ strainの縮みが観測されたことを報告した。その後の2回の測量の結果、第3図に示す様に1983年12月19日02時11分M 3.7深さ1.7 kmの西尾市付近の地震の後、元に戻ったことが確認された。

参 考 文 献

- 1) 名古屋大学理学部：東海地方の微小地震の分布(1983年5月1日～1983年10月31日)、連絡会報, **31**(1984), 269 - 272.
- 2) 名古屋大学理学部地震予知観測地域センター：辺長変化とそれに対応した地震、連絡会報, **31**(1984), 300 - 302.

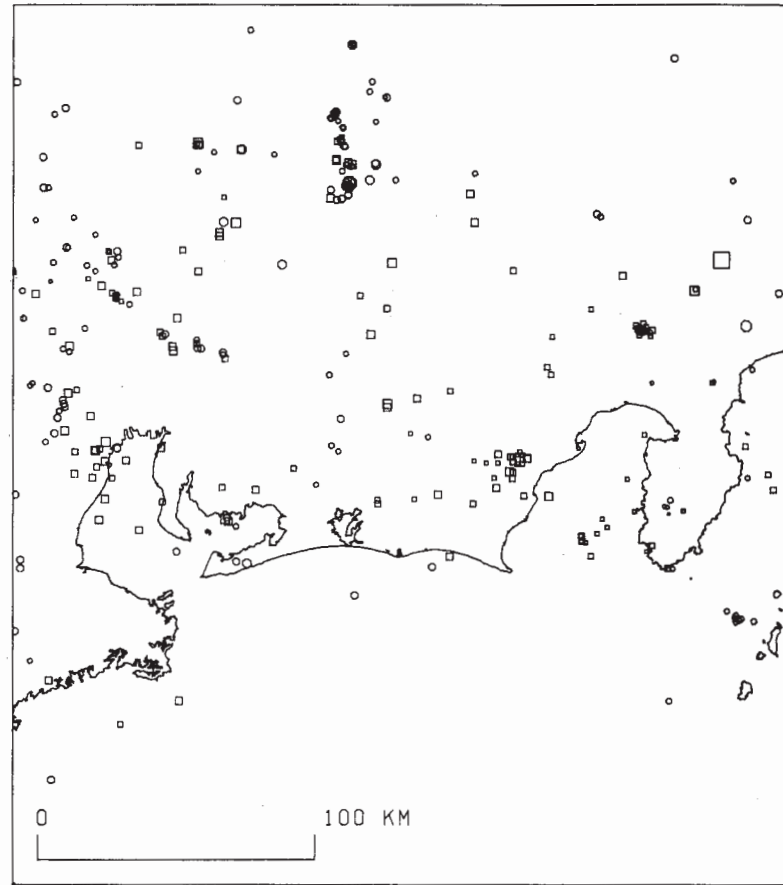


N = 397

DEPTH 0 10 20 KM
○ □

MAG. 1 2 3 4
• ○ ○ ○

1983 11 1 - 1984 1 31



N = 308

DEPTH 0 10 20 KM
○ □

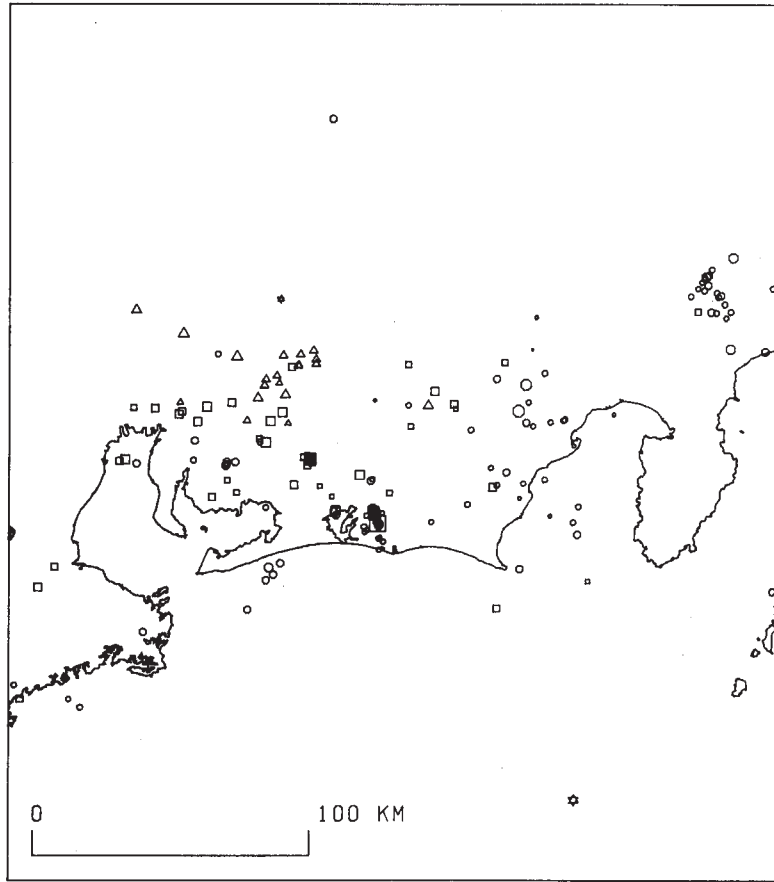
MAG. 1 2 3 4
• ○ ○ ○

1984 2 1 - 1984 4 30

(NAGOYA UNIV)

第1図 微小地震の分布 (1983年11月1日~1984年4月30日) 震源の深さが20 km以浅のもの

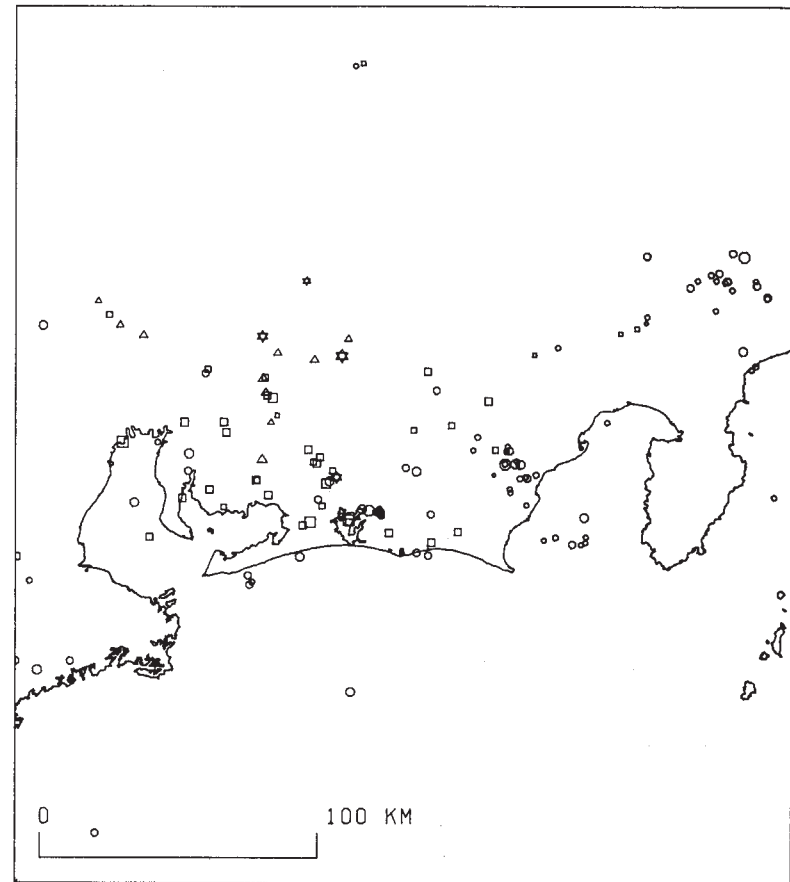
Fig. 1 Epicenter distribution of earthquakes (November 1, 1983 - April 30, 1984) shallower than 20 km.



N = 205

DEPTH 20 30 40 50 80 KM MAG. 1 2 3 4
 ○ □ △ ☆ · ○ ○ ○

1983 11 1 - 1984 1 31



N = 141

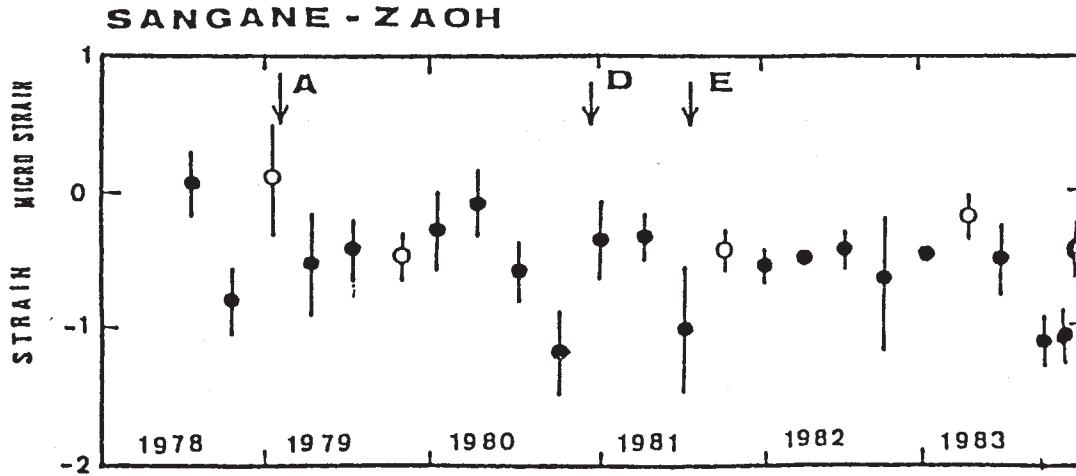
DEPTH 20 30 40 50 80 KM MAG. 1 2 3 4
 ○ □ △ ☆ · ○ ○ ○

1984 2 1 - 1984 4 30

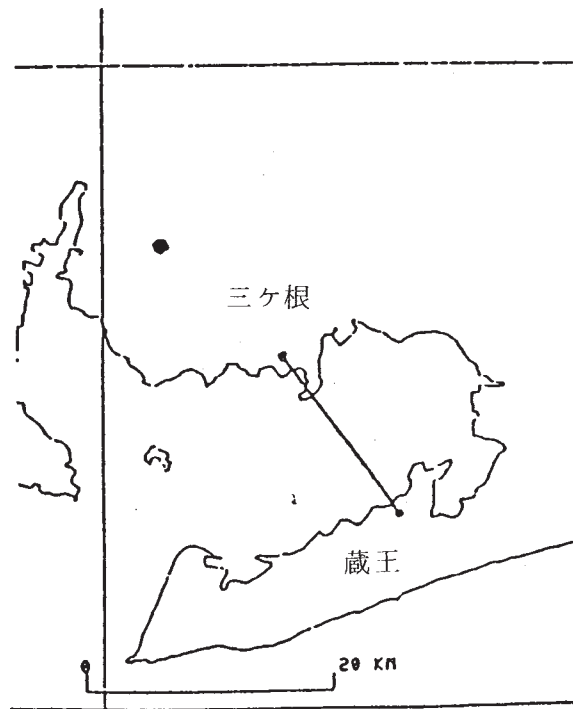
(NAGOYA UNIV)

第2図 微小地震の分布 (1983年11月1日~1984年4月30日) 震源の深さが20 kmより深いもの

Fig. 2 Epicenter distribution of earthquakes (November 1, 1983 -April 30, 1984) deeper than 20 km.



第3図 三ヶ根-蔵王基線 (16,788 m) における辺長変化
 Fig. 3 Change of horizontal strain along the Sangane-Zaoh base-line.



第4図 三ヶ根-蔵王基線の位置と1983年12月19日の地震の震央
 Fig. 4 Locations of the Sangane-Zaoh base-line and the earthquake of 19 December 1983.